

市立学校における平成29年度前期末通知表の誤記載について

川和東小学校において、平成29年10月6日配付の通知表に書式間違いによる誤記載が、保護者からの指摘により判明しました。学校は、児童、保護者に謝罪を行い、誤った通知表を回収し、正しい通知表に差し替えました。

1 誤記載の内容

1年3組(32名)分の平成29年度前期通知表「学習状況」において、2段階表記を3段階表記の枠に印字してしまいました。

「学習状況」の評価項目は、1年生前期のみ「できている・もう少し」の2段階で表記され、1年生後期からは「A・B・C」の3段階で表記されます。今回は、「できている」は「A」の枠に「○」がつき、「もう少し」は「B」の枠に「○」がついていました。「C」の枠に「○」がついている児童はいませんでした。

2 学校名

学校名 横浜市立川和東小学校 校長：齋藤 稔(さいとうみのる)
児童数：992名 教職員数：57名
所在地 横浜市都筑区富士見が丘21-2

3 経過

10月6日(金) 前期の通知表を配付した。
10月20日(金) 1年1組の保護者懇談会で、保護者より「1年生の通知表はクラスによって書式が違うのか。」といった質問が出た。確認したところ、1年3組の通知表の書式が違っていることが判明した。
10月20日(金)～22日(日)
原因の究明及び正しい評価・評定の算出、他教科・他学年の評定等の再確認を行った。
10月23日(月) 北部学校教育事務所に報告。
10月23日(月)～25日(水)
児童及び保護者に謝罪し、正しい通知表に差し替えた。
10月26日(木) 全学年の保護者宛に説明文書を配付した。

4 誤記載の原因

校務システムから通知表を印字する際、当該校では14種類の書式より、該当する書式を設定してから印字します。

今回は、当該学級担任教諭が、印字の際に書式設定を誤ってしまいました。その後、点検の段階で書式の違いに気づくことができませんでした。

5 再発防止の取組

- (1) 通知表印刷時の書式設定確認及び、記載内容点検時の確認項目など、作業手順や確認方法について、再度見直します。
- (2) 学習評価に関する研修及び不祥事防止研修について、年間を通して実施します。

お問合せ先

教育委員会事務局 北部学校教育事務所 指導主事室 室長 水木 尚充 Tel 045-944-5978